

## 令和元年9月 市議会定例会

# 小児医療費助成の所得制限撤廃へ

平塚市議会は、令和元年8月29日から9月25日まで、28日間の会期で9月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、令和元年度一般会計補正予算や条例の一部改正、人事案件など38案件が提出され、このうち平成30年度決算の認定などに関する4案件を除く34案件を原案どおり可決、同意しました。

また、議員から渡部亮議員に対する辞職勧告決議や、委員会条例の改正、意見書提出に関する議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

なお、決算の認定などに関する議案は、決算特別委員会において、今定例会後の閉会中に継続して審査することとしました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。



月に1回市役所で実施している「フードバンクひらつか」によるフードドライブ。家庭で余っている食品の寄付を受け、支援を必要とする人へ届けています。

### 一般会計補正予算の一部を紹介

- 福祉会館等管理運営事業  
栗原ホームの内壁タイル修繕や手すり設置などを行うための経費…………… 483万円
- 農道・用排水路維持管理事業  
農道と用水路の修繕などを行うための経費…………… 2,900万円
- 公園整備事業  
大久保公園プールを解体するための経費…………… 1,750万円
- 消防施設管理事業  
防火水槽撤去のための経費…………… 457万円
- 小学校施設管理事業  
学級数の増加に伴い空調機を移設するための経費…………… 1,200万円

### 所得制限の撤廃は年明けから

本市における小児医療費の助成については、平成7年10月から開始しています。当時は、通院時の医療費の助成対象を2歳児までとし、入院時の医療費の助成対象を中学校3年生までとしていました。

その後、助成対象が見直され、現在では、通院時の医療費の助成対象も中学校

3年生までに引き上げられています。一方で、小・中学生の通院時と入院時の医療費助成には所得制限が設けられています。

今定例会では、この所得制限を令和2年1月から撤廃するため、条例の一部改正が提案されました。

質疑では、所得制限の撤

廃による医療費の増加見込みや新たに助成対象となる人数などが問われ、採決では全員異議なく可決しました。

なお、一般会計補正予算には、所得制限の撤廃に必要な経費として、扶助費など103.9万円が計上されました。一般会計では、このほかに当初予算で措置できなかった経費や不足が見込まれる経費などが計上され、採決では賛成多数で可決しました。

### 部設置条例を改正

市長の指示をより迅速かつ的確に行政運営につなげるため、平塚市部設置条例の一部を改正する条例が提案され、全員異議なく可決しました。

このことから、令和元年10月に「部」と同等の位置

### 市保有個人情報の管理徹底を

本市は8月8日に、元市職員が市の管理する個人情報報告を許可なく持ち出していたことを発表しました。

この問題を受け、今定例会の総括質問では、個人情報のセキュリティを強化するための対策や職員の法令遵守に対する意識をどのよう向上させるかなどが問われました。

また、市長は市民の信頼を著しく損ねた責任を明らかにするため、自らと副市長、教育長の給与を減額するとし、本会議の最終日に関連する議案が提出され、

付けの「市長室」が新設され、防災危機管理部が市長室に統合される組織改正が行われました。

また、秘書広報課を秘書課と広報課に分離し、この2課と危機管理課、災害対策課が市長室の所管となりました。

さらに、秘書課には、未成熟案件の調査研究のほか、行政課題に関する情報収集や調査分析を行う調査担当が新設されました。

### 議会運営委員会委員を追加選任

令和元年9月9日に新たな会派として「しらすぎ・無所属クラブ」が結成されました。このことに伴い、同会派の端文昭議員と金子修一議員を議会運営委員会委員として追加で選任しました。

### 教育長の任命に同意

教育長の任期満了に伴い、本会議の最終日に教育長の任命に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

### 人事案件に同意

任期満了を迎える行政委員の後任者の選任に関する議案と、人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、各氏とも全員異議なく同意しました。

- 安達信行氏(伊勢原市)「公平委員会委員」
- 添田直氏(中郡大磯町)「人権擁護委員」
- 和田貴子氏(平塚三丁目)

### 主な内容

総括質問	2~7面
清風クラブ	2・3
佐藤貴子 数田俊樹 須藤量久 黒部栄三	
公明ひらつか	4
永田美典 秋澤雅久 石田美雪	
湘南フォーラム	5
出村 光 山原栄一	
日本共産党平塚市議会議員団	5
松本敏子	
しらすぎ・無所属クラブ	6・7
江口友子 端 文昭 金子修一 府川 勝	
無所属	7
久保田聡	
審議の結果	8面

賛成多数で可決しました。このことにより、令和元年10月から3か月間、市長の給料月額から10%が削減され、副市長と教育長の給料月額からそれぞれ7%が削減されています。

なお、本会議の初日に、この元市職員である渡部亮議員に対する辞職勧告決議が提出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。(決議の一部を2面に掲載しています。)

# 総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、15人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ



市長に問う  
平成30年度決算

佐藤 貴子 議員

**問** 平成30年度の一般会計と公営企業会計を合わせた市民1人当たりの市債現在高は41万5868円、29年度は42万2979円であった。今後の推移を伺う。

**市長** 一般会計では、既に実施した事業に関する借入れや、相模小学校移転事業や見附台周辺地区整備などの現在実施している事業により、令和5年度までに市債現在高がピークを迎えるの見込みである。全会計では、病院事業会計や下水道事業会計の企業債の償還が進むことにより、市民1人当たりの市債現在高は減少が見込まれる。市債は単年度の多大な財政負担を平準化することや、世代間の負担の公平を図る効果があるため、今後も引き続き適切に活用していくが、将来世代への過度な負担とならないよう最大の配慮が必要である。事業の実施に際しては、事業内容を精査する。また、財源の一つである市債の借入額を償還額よ

## 市長室の設置

**問** 落合市長のカラーを前に出すことについて、これまで清風クラブとしても発言をしてきた。新設する市長室に調査担当を設置し、未成熟案件の調査研究などを行うというが、先進事例として既にあるものだけでなく、バイオニアとなつて、何か新しいことをしてもらいたい。そのため予算付けが必要であると思うが、見解を伺う。

**市長** ささまざまな状況の変化により、いろいろな視点から行政が取り組まなくてはならないところが出てくるので、まずは、身近なところで何が問題で、何が必要なのかを考える。これが調査担当を設置する理由である。バイオニアとして、新しい事業への取り組みに対する調査研究に必要な予算は、私からも財政に要求

## 行財政改革の成果と将来像

すべきと考えている。

**問** 本市は、未利用地等資産活用事業や公共施設総合的マネジメントに取り組んでいる。公共施設、特に教育に関する予算は相模小学校の移転整備や中学校給食の導入に向けて着実に進めていくところではあるが、ハード面ではなくソフト面においても教育予算の将来的な確保は非常に重要である。二宮町や南足柄市では小・中学校の施設の再編計画を公表した。本市でも一中小の学校環境の在り方など、子供たちを取り巻く学校環境をしっかりと見据えた将来像を描き始める必要があると考えるが、見解を伺う。

**市長** 本市においても全国的な傾向と同様に、児童・生徒数の減少が見込まれている。一方で、さまざまな支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあり、これまで以上に支援級を設置するための教室や個別指導ができる教室を確保することが必要である。学校施設の

## 個人情報セキュリティ強化

**問** 本市の元職員が、個人情報を含む電子データを庁外へ持ち出したことに関して、一部の市民には謝罪の文書を送ったということであった。当該元職員に対して、この費用を請求しているというが、このことについて法的根拠はあるのか。

**総務部長** 損害賠償請求ができるか、最終的な判断に至ってはいない。弁護士とともに協議を進めている状況である。全国的にこのような事例があったか、インターネットで調べたところ、愛媛県松山市で個人情報保護条例に抵触する事件があったようであり、刑事的な対応と、民事的な対応がされている。民事的な対応では、その賠償の請求が認められたことを承知している状態で、その検討を進めている状況である。これは民事なので、法的根拠がこの条文になるか、弁護士と協議を進めている。



公共施設の再編とまちづくりビジョン

数田 俊樹 議員

**問** 本市は、平成27年に策定した公共施設等総合管理計画により、持続可能な最適な管理運営を目指し、長寿命化などによる財政負担の軽減に取り組んでいる。今ある施設を全て残すことになると、建て替えや改修に多額の費用を要することから、長期的な視点を持つて施設の統合や廃止などを計画的に進めていく必要がある。文化ゾーンの将来像をどう描いているのか。

**副市長** 文化ゾーンは、老朽化が進み、耐震性が確保されていない公共施設が複数存在し、再編が必要な状況である。都市マスタープランにおけるまちづくりの方向性や、土地利用の経緯なども踏まえ、多角的な視点で文化ゾーンや周辺施設の再編を検討していく。

**問** 勤労会館と青少年会館は解体し、教育会館を改修して3館の機能を複合化して利用するという方向性について説明があった。この考えに至った背景とこれまでの経過について伺う。

**副市長** 行政改革推進委員会の事業評価において、3館のいずれも「施設の総量・配置」と「施設の管理運営手法」について見直しが必要との評価を受けた。このことにより、28年度から庁内関係部署による検討を重ね、3館の集会機能を統合した上で教育会館の建物を改修して活用することとし、青少年会館を解体する方向性を29年2月にまとめた。その後、文化芸術ホール整備計画の進展などを踏まえ、令和元年6月に勤労会館についても解体することとして、3館の方向性を公表した。

**問** 近隣で耐震化が図られておらず、考えなければいけない建物があると思う。3館を先行するのではなく、文化ゾーンの施設も複合化すべきではないか。

**企画政策部長** 事業評価で

## 決議

可決 した

議員からの提出議案として、本会議の初日に次の決議が提出され、賛成多数で可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

### ■渡部亮議員に対する辞職勧告決議（抜粋）

渡部亮議員は、平塚市の記者発表により各新聞等でも報道されたように、個人情報保護条例に反する恐れのある行為をした。

我々平塚市議会議員は、議会の品位を汚すことなく、その立場と職責の重さを深く自覚し、法令、条例を遵守し、市政の発展と住民福祉の向上に努めなければならない。渡部亮議員の行為は公務員としてあるまじき行為であり、また社会人として規範に背くものであり、市議会議員としても市民の信頼を著しく損なうものである。

以上のことから、事態の重大さを真摯に受け止め、自らの意思により直ちにその職を辞することを勧告する。

3館が指摘され、方向性をつくっていかねばならないという状況があった。中央図書館と博物館についても問題を抱えている。公共施設等総合管理計画に3原則が示されており、施設の質的向上と新たな施設建設の抑制、床面積の総量縮減という考えがある。残りの施設も問題を抱えていることから総合的に考えていく中で、個別施設計画を2年度中に策定する。

**問** 他市には来館者が年間100万人を超えるような施設がある。文化機能や貸館機能、教育的な目的も含むすばらしい施設、例えば大和市のシリウスや新潟県長岡市のアオーレ長岡などである。本市において新しい施設を建てて他の施設も生かすという考えは、老朽化ではないかと思うが、老朽化した各施設を無くすのであれば、集約や複合化することでその土地の売却などの判断もできる。個別に考えることで土地の活用や売却がしづらい状況となるのは避けるべきである。2年度に個別施設計画をつくるのであれば、そのタイムラグで一通りの施設を検討すべきではないか。

**企画政策部長** 3館の在り方としては、施設の老朽化や耐震性能の問題などを分析し、会議室は教育会館を改修して、1館に集約することで賄えると判断した。2館を解体すると土地が生まれるので、売却するのか、活用するのかはこれから決めていく。そういった整理の中でまずは3館についての方向性を打ち出した。次の段階として図書館や博物館を含めた施設をどうするか考えるという2段階で進めていきたい。

**市議会**  
ホームページ

市議会に関する情報は市議会ホームページでご覧になれます。



「スポーツには世界と未来を  
変える力がある」

須藤 量久 議員

### ひらつかリトアニア 交流推進基本方針

**問** リトアニア共和国選手の出場種目や選手団の規模の想定と、事前キャンプの時期について伺う。

**オリリンピック・パラリンピック推進担当部長** 前回大会の実績からオリリンピックは15競技で50人から100人、パラリンピックは50競技で20人程度の選手、スタッフを想定し準備している。事前キャンプが始まる時期は大会2週間前の7月上旬を想定している。

**問** 市民が一体となっておもてなしの心を持ち、友好の絆を育み、スポーツの感動を共有していくことが重要である。多くの市民に参加してもらえ「人の体制づくり」について伺う。

**オリリンピック・パラリンピック推進担当部長** 実行委員会を中心に多くの市民団体や企業に協力してもらい、交流事業に取り組んでいる。さらに7月には市民ボランティアを募集した。

今後も関係団体などと協力して、多くの市民が支え、参加し、スポーツの感動を共有できるよう取り組む。

**問** 基本方針に、次代を担う子供たちの将来の財産となるような交流を目指すという。リトアニア共和国の選手がいくつかの小・中学校を訪れ、交流が行われたが、その内容や今後の取り組みについて伺う。

**オリリンピック・パラリンピック推進担当部長** 子供



### 市民の生命、財産、生活を守る災害対策

黒部 栄三 議員

**問** 行政の最大の使命は市民の生命、財産、生活を守ることだと認識している。先日台風15号が襲来したが、雨による被害は少なかった。しかし、最近の雨の降り方は尋常ではなく、先日も九州で大変な雨が降った。本市では豪雨に対応すべく、総合浸水対策基本計画を策定し、昨年度まで実施した短期対策からの継続部分を含めて今年度から中期対策を実施していくとしている。その中で、岡崎地区の西海地排水路の整備に關しては下流の新川付近が未整備ということである。今後また大雨が降ると心配な状況だが、どのような対策を講じていくのか。

**土木部長** 西海地排水路の

整備はまだ全ては完了していない状況である。この排水路は伊勢原市にも流れているので、伊勢原市とも協議を行っている。新川と合流する部分の浸水状況については、今年度実施する委託でシミュレーションを行い、今後の対応策を考えていきたい。

**問** 避難所には、女性や高齢者などに配慮した生活必需品等の備蓄、また弱者に優しい避難所となるよう配慮が必要と考えるが見解を伺う。

**土木部長** 避難所では多様な人が避難生活を送ることから、女性や高齢者などへの適切な配慮は必要なことであると考えている。生活必需品では、女性や高齢者

たちが選手から技術を学ぶスポーツ教室や、選手とさまざまな競技を一緒に行う「ふれあいフェスタ」を開催してきた。また、市内の小・中学校や盲学校、養護学校などで選手と直接触れ合う事業も実施してきた。今後も子供たちとの交流の機会をできる限り多く設けるよう取り組んでいく。

**問** 取り組むべき重要な課題は、パラリンピックの理念を多くの人に広め、推進することである。パラリンピックの理念は、人々の見方を変え、さまざまな違いを認め合う共生社会の創造

である。大会を契機に共生社会の創造への更なる一歩を踏み出すべきと考えるが、その取り組みを伺う。

**オリリンピック・パラリンピック推進担当部長** パラリンピック委員会のテストキャンプを受け入れ、パラリンピック選手の学校への訪問や地区レクなどへの参加により、市民と直接触れ合う交流事業を実施した。また、パラスポーツフェスタでは障がいのある人もない人も、ともにパラスポーツの体験やボッチャ競技などを行った。来年2月には日本パラリンピック委員会

に配慮した物品としてノンアルコールウエットティッシュや生理用品、大人用紙おむつを備蓄している。乳幼児に対しては、粉ミルクや使い捨て哺乳瓶、紙おむつを備蓄している。また、プライバシーの保護に配慮して間仕切りユニットも備蓄している。地域防災計画において、避難所は女性や要配慮者の参画に努め、避難者に必要な配慮をしながら運営されることとなつて

いる。今後も引き続き、多様な避難者を想定した物品の備蓄を進めるとともに、避難者の状況に配慮した環境を整えることができるよう、避難所運営委員会を中心とした避難所での取り組みを支援していきたいと考えている。

**このほかの質問** 平塚の農業 真田・北金目地区の現状と課題 小中学校のエアコン設置後の課題 聖苑

について

**1面写真を募集**

議会だよりの1面に掲載する写真を募集しています。詳しくは議会局までご連絡ください。  
(議会局 ☎21-8791)

副委員長の講演会を市民向けに実施する予定である。

**このほかの質問** 英語教育の充実 平塚高村団地及びその周辺地域における地域医療福祉拠点整備モデル地区構想について

### 声の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を音声化した「声の議会だより」を発行しています。

### 議員所属 清風クラブ



片倉 章博 議員



野崎 審也 議員



諸伏 清児 議員



坂間 正昭 議員

## 常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

### 総務経済

議案12案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は不採択とすべきものと決定しました。

#### ○議案第56号 平塚市森林環境譲与税基金条例

**問** 今回の補正予算で森林環境譲与税約1千万円が計上され、この基金に積み立てられる。これはどのような目的で使うのか。

**答** 森林環境譲与税の用途は、森林の整備とその促進に関するものと法律に規定されている。原則その中での利用を考えているが、市内には林業に使える森林がないため、木材利用などを通じて間接的に森林整備を進める考えである。

**問** 数年後には市民に国税として年額1千円を納税してもらうこと

になる。基金についてどのように周知していくのか。

**答** 法律でも毎年インターネットなどを通じて用途を公表することが定められている。国や県からの指示に沿って内容を公表する。

#### ○議案第78号 令和元年度平塚市一般会計補正予算

**問** 平和意識普及・啓発事業で、補正予算を計上して国道129号の道路拡幅に伴い核兵器廃絶平和都市宣言塔を撤去するが、今後新たに設置する予定はあるか。

**答** 残り六つの宣言塔があるが、新たに設置する予定はない。

**問** 農道・用排水路維持管理事業で2900万円の補正予算が計上されているが、内容を伺う。

**答** 片岡地区の用水路修繕と土屋地区の農道法面保護工事を行う。

### 都市建設

議案6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

#### ○議案第78号 令和元年度平塚市一般会計補正予算

**問** 公園整備事業で大久保公園プールを解体するため、1750万円の補正予算を計上している。プールの周囲はコンクリートで固められ、その上をフェンスで囲っている。更衣室やトイレなどもあるが、一緒に解体するのか。

**答** コンクリートで固められたプールは、基本的に全て撤去する予定で、管理棟やポンプ室などの建屋も全て撤去する予定である。トイレは現在使用されているので、利用できる形で残したいと考えている。

**問** 総合公園管理運営事業で計上されている補正予算は、当初予算に含めていなければいけなかったのではないか。

**答** 総合体育館の地下にある蓄電池の改修費を計上している。蓄電池は停電時の非常照明などのバッテリーとして設置している。点検の際に痛みが進んでいることが分かり、急きよ交換しなければならず補正予算を計上した。

**問** 蓄電池は停電時にどのくらいの時間を賄えるのか。

**答** 総合公園には電源として本線と予備線が入っており、蓄電池は両方が途絶えたときのためのものである。来館者が避難できるように部分的に廊下の明かりが付き、法律で規定されている30分程度を賄えるような機能である

公明ひらつか



サステイナブルシティ「ひらつか」へ取組の加速を

永田 美典 議員

行財政改革に関する取組

問 行財政改革計画の平成30年度...

市長 計画にある27事業を進めるに当たり...

問 未利用地等資産活用事業は進捗に遅れがあった...

市長 未利用地を一般競争入札で売却する場合...

問 精度の高い財務諸表を作成し、利用効率や資産価値...

市長 行政目的での利用が見込めず、特に課題がない土地...

問 SDGsの持続可能な17の開発目標を、総合計画の施策...

市長 今年度行う総合計画雨に対応できるか...

問 中間見直しで、具体的な個別施策単位...

市長 現在、公共施設再編計画...

問 学校給食費の公会計化で見込まれる効果と導入の目標...

市長 効果として、教職員の負担軽減...

問 5月に浸水対策第2次実施計画を策定した...

市長 管渠整備や浸透施設など各地区...

問 河内川ほどの程度の降雨に対応できるか...

市長 大雨では特に河川水位は重要...

問 住民避難を促す避難勧告が行われる流れを...

市長 大雨では特に河川水位は重要...

問 人工透析は費用が高額で、医療費全体から見ても課題...

市長 効果として、教職員の負担軽減...

問 平成28年度から、糖尿病重症化の予防...

市長 特定健診の対象者を抽出し、保健師...

問 特定健診を受けていない人の中で、過去に糖尿病...

市長 特定健診を受けていない人の中で、過去に糖尿病...



医療費適正化へ向けて

秋澤 雅久 議員

平塚市地域福祉リーディングプラン

問 就労準備支援事業に対する考え方を...

市長 県内他市を参考に事業...

通学路の防犯対策

問 農地に隣接する農道や市道へ防犯街路灯を設置...

教育長 防犯街路灯は自治会...

がん検診受診率向上

問 がん検診の個別受診勧奨や、未受診者への再度の受診...

健康・子ども部長 個別受診勧奨として...



誰もが暮らしやすい社会の実現を目指して

石田 美雪 議員

ユニバーサルデザインの街づくり

問 人工肛門や人工膀胱を保有するオストメイトに...

福祉部長 本市独自の基準は設けていない...

問 パリアフリー情報などが簡単に一目で分かるユニバーサルデザインマップ...

交通政策担当部長 本市には「ひらつかわくわくマップ」...

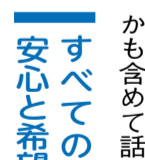
問 稲の成熟に影響が出ないよう光害に配慮した「光害防止LED防犯街路灯」...

教育長 耕作者に農作物への影響を説明し...

がん検診受診率向上

問 がん検診の個別受診勧奨や、未受診者への再度の受診...

健康・子ども部長 個別受診勧奨として...



誰もが暮らしやすい社会の実現を目指して

上野 仁志 議員

すべての子どもの安心と希望の実現を

問 国は、地域と学校、保護者が協働し子供たちの成長を支える...

社会教育部長 本市では、中学校区ごとに設置...

問 パリアフリー情報などが簡単に一目で分かるユニバーサルデザインマップ...

交通政策担当部長 本市には「ひらつかわくわくマップ」...

会議録は11月下旬に公開

9月定例会の会議録は11月下旬から公開します。市役所本館8階の議会図書室や5階の市政情報コーナー...

公明ひらつか 所属議員 上野 仁志 議員 鈴木 晴男 議員

# 湘南フォーラム



## ツインシティ整備推進事業・相模小は

**問** 土地区画整理事業の現状と今後の取り組みを伺う。

**市長** 建物の移転補償や造成工事、道路、公園、雨水調整池などの整備が進み、今年度末に総事業費の約8割を執行する予定である。今後は環境共生モデル都市の具現化を進めていく。

**問** 2020年のまちびらきのイメージを伺う。

**市長** ツインシティ大神線などの幹線道路がおおむね完成し、一部の立地企業が

## ツインシティ整備、見附台周辺整備、待機児童ゼロを問う

出村 光 議員

**問** 立地企業についてはどのような状況か。

**市長** 商業施設1社、物流施設4社の進出が決定し、そのうち1社が本年10月に完成予定である。残りの企業も順次建築工事に着手し、1、2年の建築期間を経て操業する予定である。

**問** 南北都市軸への公共交通導入に向けた現在の進捗状況を伺う。

**市長** 定時性や速達性に優れる連節バスなどの導入に向けて関係機関と協議や調整を進めている。

**問** 相模小学校の移転について、進捗状況と開校時期を伺う。

**市長** 本年3月に学校用地の取得が完了した。工事の着手は令和2年1、2月頃を見込んでおり、完了まで約2年を要するため、4年4月の開校を目指して進めている。

**問** 現在の相模小学校の跡地利用の考えを伺う。

**市長** 学校用地を取得した費用を補填するため、更地にした上で売却することが考えられる。

## 見附台周辺地区整備 市民へもつと情報を

文化芸術ホールや見附台公園の整備などに132億5千万円の債務負担行為が設定されている。この事業については、市民への定期的な情報提供が大切と思いが考えを伺う。

**市長** 事業の概要や進捗などの情報を発信する「見附台周辺地区整備だより」を発行し、ホームページに掲載するとともに、公民館、図書館などでの配布や近隣自治会への回覧を行っている。また、周辺住民を対象に説明会も開催している。

**問** 供用開始に向けて、今後どのように進めていくのか。

**都市整備部長** 設計内容が確定する時期には広報ひらつかに掲載したいと考えている。

**問** 更なる施策展開をする考えはあるか。

**健康・こども部長** 新園整備や既設園の増築などにより、155人ほどの定員増加を予定している。

**このほかの質問** 中学校給食実施に向けた進捗(公会計化など) 小中学校トイレ洋式化

## 待機児童ゼロへの見直しは

待機児童がゼロになる見通しと今後の施策について伺う。

**市長** 施設整備を着実に進め、2020年4月時点での待機児童解消につなげていきたい。また、本市独自の取り組みを進める。

**副市長** 各地区の特性にあわせた整備を進め、自助に対する支援も行う。また、既往最大降雨1時間当たり70・5ミリに対する浸水対策の検討を行う。

**問** 本市と秦野市、伊勢原市の遊水機能のある水田は30年間で602ヘクタール減少している。これは本市の水田面積622ヘクタールとほぼ同じ広さである。これ以上遊水機能のある土地を減らさないため、総合浸水対策の重点地区で遊水機能を有する土地所有者に



## 選ばれるまち住み続けるまち 主要課題の取り組みを問う

山原 栄一 議員

## 大雨でも浸水しない まちづくりに向けて

**問** 総合浸水対策第2次実施計画における更なる取り組みを伺う。

**副市長** 重点対策地区で水田が隣接するのは、真土、岡崎、豊田打間木・東豊田地区が該当する。水田の範囲や高さ、用排水路の経路などを調査し、雨水の流出抑制効果を検証していく。

**問** 平塚駅北口からJR改札階までのバリアフリー化は、本市のバリアフリーの一丁目一番地である。市の方針を伺う。

**都市整備部長** バリアフリー基本構想において「駅前広場と改札階とのバリアフリー経路の確保を検討する」としている。

**問** ラスカ西側のエレベーターは、3階の市民窓口センターまで行く。スターバックスを超えて改札までの経路が確保できないか。

**都市整備部長** 市民窓口センターを開設したことで、ラスカ側のブロックができた。好材料があるので、協議をしたいと考えている。



ラスカ西側エレベーターの様子

# 日本共産党平塚市議会議員団



## 公共サービスの民営化は「市民が主体のまち」とは乖離

松本 敏子 議員

## 「官から民へ」に 市民の不満続出

**問** 民間活力の導入に対する市民の不満の最たるものは駐車場有料化である。市役所の駐車場は、中央公民館や勤労会館、八幡山公園の利用者には最初の1時間から有料である。これら施

**問** 連節バスの運行時期はいつか。

**交通政策担当部長** 明確には決まっていない。企業の操業開始を見据えて考えていきたい。

**問** 相模小学校の移転について、進捗状況と開校時期を伺う。

**市長** 本年3月に学校用地の取得が完了した。工事の着手は令和2年1、2月頃を見込んでおり、完了まで約2年を要するため、4年4月の開校を目指して進めている。

**問** 現在の相模小学校の跡地利用の考えを伺う。

**市長** 学校用地を取得した費用を補填するため、更地にした上で売却することが考えられる。

**問** 更なる施策展開をする考えはあるか。

**健康・こども部長** 新園整備や既設園の増築などにより、155人ほどの定員増加を予定している。

**このほかの質問** 中学校給食実施に向けた進捗(公会計化など) 小中学校トイレ洋式化

## 企画政策部長 現時点での見直しはしない。次の使用許可の募集に向けて、利用実態の把握に努めていく。

**問** 9月に市民課と保険年金課の窓口業務の一部が委託となり、多くの市民が長時間待たされた上に駐車料金を取られ、市民から苦情が殺到した。市の都合で待たせたとき、生活相談や議会の傍聴をしたときは市がしっかりと補償する、これが市の役割ではないか。

**企画政策部長** 駐車場利用の公平性から要領に基づき減免しており、市民課においては一部減免がある。

**問** 本市が進めるPark PFI手法は、選定委員会のメンバーも会議録も一切開の中、全体計画が決まってから初めて市民に公表される。自治基本条例に規定している市民と議会、市の執行機関が対等な立場で連携することも、まちづくりに関する情報を共有することもない。Park PFI手法を取り入れる際に、自治基本条例との整合性を検討しているのか。

**企画政策部長** 自治基本条例を意図しながら、実行しているつもりである。

**問** Park PFI手法により、魅力あふれる事業となり、事業費が削減されるか、全国でも検証されている。この手法が自治基本条例に抵触しないという根拠を市民に明らかにし、全国の実態を検証してから進めるべきではないか。

**都市整備部長** 市民に対して説明しなければならぬ部分は全てやっただ上、事業者の募集に踏み切った。自治基本条例との整合性をとった形で進めている。

## 企画政策部長 自治基本条例を教育会館に統合する計画が進んでいる。3館の利用者がこれまでどおり使える

**問** Park PFI手法により、各館の設置目的に沿った会議室の利用は、ピーク時でもおむね対応可能であることを確認している。

**問** 大会議室や集会室の利用者は多い。また、青少年会館では音楽室や柔道場、美術室、陶芸作業場などがあり、これらが全て教育会館で対応できるのか。

## 学童保育の保育料

**問** 多くの自治体では、生活保護世帯や非課税世帯、ひとり親世帯の学童保育の保育料を免除している。また、2人目以降は2分の1の減免を実施しているところもある。3月議会でも指摘したが、本市はいまだに実施していない。一刻でも

## 日本共産党平塚市議会議員団 所属議員



石田 雄二 議員

## 湘南フォーラム 所属議員



府川 正明 議員

しらさぎ・無所属クラブ



市長は、公正で透明な市政運営を

江口 友子 議員

問 新設する市長室の中に、秘書課調査担当をなぜ設置するのか。

総務部長 調査担当は特命事項として未成熟案件の調査研究を行う。市長室に設置することで、市長からの指示を直接受け、迅速に施策へ反映させたい。

問 例えば業界団体が調査依頼したらどうするのか。

総務部長 状況によるが、しっかりとした対応をしていくことになると思う。

問 平塚海岸の開発などに対する市民の声を市長室に届けることができるのか。

総務部長 可能なものは受ける。市民の声を市長室に届けることができるのか。

可決した意見書

議員から、次の意見書が提案され、全員異議なく可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書(抜粋)

政府におかれては、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

- 1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」(サポカーS)や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。
2 高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車」(サポカーS)に限定した免許の創設や、走行できる場所や時間帯などを制限した条件付き運転免許の導入を検討すること。
3 免許を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド(予約)型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。また、地方自治体などが行う、免許の自主返納時における、タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

湘南平再整備計画

まず市民意見反映を

問 湘南平の再整備に当たり、基本構想などを策定せずにPPP/RFI手法の導入可能性調査を行った。市民意見を反映させた計画を策定すべきではないか。

都市整備部長 調査は、今後計画を策定する際の参考とする。策定は市民の意見を聴きながら進める。

問 この調査で整備手法以外に何を聞いているのか。

都市整備部長 湘南平を整備し、20年程度継続して事業を行える企業があるか確認している。



図書館業務の民間委託や指定管理で個人情報を守られるか

端 文昭 議員

問 中央図書館の窓口業務を令和2年度から民間委託するとし、3年間で2億3913万円の債務負担行為を設定する。また、地区図書館の3館は4年度から指定管理者制度に移行する予定で、移動図書館は存廃を検討している。その進捗状況を問う。

社会教育部長 民間活力を導入する方針として「平塚市行財政改革計画(2016-2019)」に位置付けて、業務委託などの取り組みを進めることとした。

問 本年9月から市民課と保険年金課で窓口業務の一部を民間委託することとした。

社会教育部長 例え、仕様などにより、事業者に対して説明、指示をする。

問 本年9月から市民課と保険年金課で窓口業務の一部を民間委託することとした。

社会教育部長 例え、仕様などにより、事業者に対して説明、指示をする。



平塚市役所 改革

金子 修一 議員

市町広域行政推進と合併

問 本市は、大磯町、二宮町、伊勢原市、秦野市、中井町と行政の連携をしているが、現状を伺う。

企画政策部長 これらの市町とは3市3町広域行政推進協議会を組織している。また、大磯町、二宮町のごみ処理広域化や消防指令センターの共同運用、秦野市、伊勢原市との金目川水害予防組合など、さまざまな連携を行っている。

問 中井町とは地形的に関係も多いので、より連携を

進めてはどうか。

企画政策部長 昭和44年の協議会発足当時は、本市、伊勢原市、大磯町、二宮町だったが、その後秦野市と中井町が加入した。今後この3市3町で広域行政の課題を整理していきたい。

部を民間委託したが、本当に心配している。パーソルテンプスタッフ(株)に委託しているが、とんでもないことだと私は思う。テンプスタッフ登録女性派遣労働者容姿ランク付き名簿流出事件を知っているのか。

市民部長 そのような事件があったということは承知している。

龍城ヶ丘の海岸開発は住民反対多数でも進めるのか

問 住民合意がなくても事業を進めるという方針を庁議で決定したのか。

都市整備部長 将来を見据えて進めるべきと判断したため、庁議に付議し、承認を経て公募を開始した。

問 歩行者の安全や交通流の円滑化確保の面で課題もあるが、早期のバリアフリー化を目指し、関係機関と検討を進めていきたい。

問 駅西口周辺の環境浄化について、現状を伺う。

都市整備部長 本年5月に平塚駅周辺環境浄化対策連絡会を設置し取り組みを進めている。

問 駅西口はイメージが悪く怖いと言われるが、環境浄化で良いまちづくりができるのではないかと。

副市長 平成26年に商工会議所などから環境浄化について条例制定の要請があった。違法駐車、違法駐輪、路上看板、客引きなどの実態は十分承知している。当面はパトロールや啓発に取り組み、その後次のステップを考えた。

崇善公民館 建物の問題点

問 崇善公民館と市民活動センターを複合化した建物は、大和リース(株)が建設した。落札金額は3億7千万円で予定価格との差は99.15%、入札参加は1社と非常に不思議な入札となっており、また、運用開始と同時に、防音が悪い、WiFiが繋がりがづらい、自転車置き場が暗いなどの苦情が寄せられている。改善を要望するが見解を伺う。

社会教育部長 防音問題は所有者であるリース会社と協議し、可能な限り改善したい。WiFiは新たに専用回線を設ける予定である。自転車置き場は明るさの確保に努めていく。

社会教育部長 公民館は鉄骨の下地に石こうボードを貼った一般的な構造で、防

行政視察の報告

委員会の活動

他自治体の先進事例を研究するため、二つの委員会が、閉会中に行政視察を行いました。視察内容を記載した報告書は、市役所本館8階の議会図書室や5階の市政情報コーナーでご覧いただけます。

総務経済常任委員会(8月5日~6日)

- 新潟県上越市...スマート農法の導入
石川県金沢市...創業支援施策

都市建設常任委員会(7月16日~17日)

- 富山県富山市...市街地再開発事業(TOYAMAキラリ)
岐阜県岐阜市...市民協働型のコミュニティバス

崇善公民館 建物の問題点

問 崇善公民館と市民活動センターを複合化した建物は、大和リース(株)が建設した。落札金額は3億7千万円で予定価格との差は99.15%、入札参加は1社と非常に不思議な入札となっており、また、運用開始と同時に、防音が悪い、WiFiが繋がりがづらい、自転車置き場が暗いなどの苦情が寄せられている。改善を要望するが見解を伺う。

社会教育部長 防音問題は所有者であるリース会社と協議し、可能な限り改善したい。WiFiは新たに専用回線を設ける予定である。自転車置き場は明るさの確保に努めていく。

社会教育部長 公民館は鉄骨の下地に石こうボードを貼った一般的な構造で、防

音が最重点ではない。設計書はどの部門がチェックしたのか。

社会教育部長 教育委員会の公民館部門と建築部門が入札仕様書を作成し、完成後の検査は市とリース会社の両者で行った。

問 「高からう悪からう」が崇善公民館の代名詞となっている。防音対策をしたというので見に行ったら改善されていない。これをどう判断するのか。

社会教育部長 オープンしてから利用者の声が入ってきている。リース会社と協議し、可能な限り改善を進めていきたい。

中心商店街 駐車違反対策

問 駅西口やパールロードは夜間になると道路上が駐車場と化している。取り締まりを実施してはどうか。

交通政策担当部長 警察との連携を強化し、違法駐車



ツインシティ橋に4車線道路と複線の鉄道が引かれるか

府川 勝 議員

問 ツインシティ計画は、大神地区を、新幹線新駅が開設される倉見地区と同じ規模で整備することで、同様の利便性を持たせたまちづくりを行うものである。県は、大神、倉見間の相模川に新しい橋を建設し4車線道路と複線の鉄道を整備すること、また、大神駅を建設することを約束したはずである。現在進捗しているツインシティ橋は県の施工となっているのか伺う。

答 ツインシティ橋の整備は、4車線道路と複線の鉄道を整備すること、また、大神駅を建設することを約束したはずである。現在進捗しているツインシティ橋は県の施工となっているのか伺う。

トイレはどうなったか

問 江陽中学校のトイレはホテルのトイレのように清潔だが、その他の学校のトイレはどうか。

答 江陽中学校のトイレはホテルのトイレのように清潔だが、その他の学校のトイレはどうか。

龍城ヶ丘プールの跡地開発など

問 龍城ヶ丘ゾーンの三つのエリアのうちAエリアだけ開発して、B、Cエリアは緑地保全をするべきでは

ないか。都市整備部長 B、Cエリアの樹林地は日中でも薄暗く、安心安全に利用できる状態ではないため、三つのエリアを一体的に魅力ある公園として整備していく。

無所属

創業支援施策と、幼保無償化や公立幼稚園のあり方

久保田 聡 議員

創業支援施策について

問 本市の特定創業支援等事業の内容について伺う。副市長 本事業は、経営・財務・販路開拓・人材育成に関する知識を習得することができ継続的な手厚い

支援である。事業の認定を受ける、中小企業融資制度の新創業支援資金が利用できるようになる。また、中心市街地活性化事業の賃借料の補助期間を拡充する支援を実施している。

問 これからの時代、AIやロボットなどの技術革新が進んでいくと思う。本市における新産業創出に向けたビジョンについて伺う。副市長 産業振興計画2024の基本方針の一つに、「社会環境の変化に応じたイノベーションの創出」を掲げている。その中の施策として「知の集積と活用」

「創業支援とベンチャー企業創出」「地域資源や経営資源を活用した産業間連携の推進」の三つがある。

無所属議員 小泉 春雄 議員

幼児教育・保育の無償化と公立幼稚園のあり方

問 本年10月から幼児教育・保育の無償化がスタートする。新規入所申し込みの増加に対応するため、本市として何をすべきか。健康・子ども部長 一定の基準を満たした認可施設の新設や増築と、待機児童の多い低年齢児対策として小規模保育施設整備による定員拡大を進めてきた。

問 公立幼稚園への需要に応じた受け皿を持ち、多様な教育の場が必要と考えるが、本市の見解を伺う。学校教育部長 公立幼稚園の遊びを中心とした保育に魅力を感じている人や支援を必要としている人への厚い幼児教育という面もある。今後、利用者の状況も踏まえ、市全体の幼児教育について検討していく。

請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。請願には賛同する議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。



しらさぎ・無所属クラブ 所属議員



渡部 亮 議員



白井 照人 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

環境厚生

議案8案件は原案どおり可決すべきもの、議案第67号は否決すべきものと決定しました。

○議案第67号 平塚市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 家庭的保育事業者等は条例改正によって、市長が認める場合に認可外保育施設を3歳以降の受け皿として連携協力することができる。認可外保育施設の実態をどう把握するのか。

答 立ち入り検査などを行っている県と連携している。今後、認可外保育施設も無償化の対象となり指導が厳しくなる。それも踏まえながら確認することになる。

○議案第68号 平塚市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

問 小児医療費助成の所得制限を撤廃することで、どのくらいの医療費の増額を見込んでいるか。

答 年額で約8600万円の増額を見込んでいる。

○議案第78号 令和元年度平塚市一般会計補正予算

問 廃棄物処理費の遠藤原一般廃棄物最終処分場内道路付替事業で処分場は延命の方向に進むのか。

答 地元との協議で、埋め立て処分計画の埋め立て期間を令和15年9月30日までとしている。計算上では、これ以上延びて埋め立てが可能であるが、期間の延長については先んじて地元との協議が必要となる。

教育民生

議案5案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第71号 平塚市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

問 条例の改正で、現在の地区公民館の館長が行ってきた事務や監督を中央公民館長が一手に担うというが、どのような変更か。

答 現在の地区公民館の館長は、地方自治法などの改正により事務や監督が制限される。一方で、必要な事務を行い、職員を監督する社会教育法で定める館長を位置付ける必要があり、中央公民館長が兼務することとする。現在の館長には、これまでどおり地域の声を聴き、市に助言をしてもらう。

○議案第78号 令和元年度平塚市一般会計補正予算

問 戸籍住民基本台帳費の戸籍及び住民基本台帳事業で、旧氏併記対応に伴う印鑑システム及びコンビニ交付システムを改修するが、併記はいつから反映されるのか。

答 政令の施行日である11月5日から旧氏を記録する請求を行うことができ、住民票の写しや印鑑登録証明書、マイナンバーカードなどに旧氏を併記できる。

問 中央図書館窓口等業務委託料として令和4年度までの債務負担行為補正を計上しているが、委託の中身を伺う。

答 中央図書館の子ども室と貸出室の窓口業務の一部を委託し、民間ノウハウの活用によるサービス向上と、事務の効率化を図る。

# 審議の結果

## 市長提出議案 (賛否が分かれた議案)

○は賛成 ×は反対 退は退席  
(各会派の正式名称はページ左下に記載しています)

議案番号	件名	結果	清	公	湘	共	し	G	H
第54号	平塚市パートタイム会計年度任用職員の報酬及び費用弁償等に関する条例	可決	○	○	○	×	○5 ×1	○	○
第55号	平塚市競輪事業臨時従事員の給与の種類及び基準に関する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○
第59号	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	×	○5 ×1	○	○
第60号	平塚市一般職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○5 ×1	○	○
第61号	平塚市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○5 ×1	○	○
第62号	平塚市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○5 ×1	○	○
第67号	平塚市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○2 ×4	○	○
第72号	平塚市市民病院職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○
第78号	令和元年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	×	○4 ×2	○	○
第88号	平塚市特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○5 退1	○	×

## 市長提出議案 (全員異議なく可決・同意した議案又は継続審査とした議案)

議案番号	件名	結果
認第1号	決算の認定について〔平成30年度平塚市一般会計・特別会計決算〕	継続審査
認第2号	決算の認定について〔平成30年度平塚市病院事業決算〕	継続審査
認第3号	決算の認定について〔平成30年度平塚市下水道事業決算〕	継続審査
第56号	平塚市森林環境譲与税基金条例	可決
第57号	平塚市部設置条例の一部を改正する条例	可決
第58号	平塚市印鑑条例の一部を改正する条例	可決
第63号	平塚市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
第64号	平塚市市税条例等の一部を改正する条例	可決
第65号	平塚市手数料条例の一部を改正する条例	可決
第66号	平塚市小学校就学前子どもの教育及び保育に関する条例の一部を改正する条例	可決
第68号	平塚市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決
第69号	平塚市地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例	可決
第70号	平塚市立の学校の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決
第71号	平塚市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	可決
第73号	平塚市立幼稚園の保育料の徴収に関する条例を廃止する条例	可決
第74号	訴えの提起について	可決
第75号	市道路線の廃止について	可決
第76号	市道路線の認定について	可決
第77号	利益の処分について	継続審査
第79号	令和元年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決
第80号	令和元年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算	可決
第81号	令和元年度平塚市病院事業会計補正予算	可決
第82号	令和元年度平塚市下水道事業会計補正予算	可決
第83号	平塚市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例	可決
第84号	教育長の任命について	同意
第85号	公平委員会委員の選任について	同意
第86号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
第87号	人権擁護委員の推薦について	同意

## 議員提出議案 (全員異議なく可決した議案)

会議案番号	件名	結果
第5号	平塚市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決
第6号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	可決
第7号	平塚市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決

## 請願

請願番号	件名	結果
第3号	平塚市議会への署名に捺印が無くても有効とすることを求める請願	継続審査
第4号	所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することを求める請願	不採択

## 報告

報告番号	件名
第10号	継続費の精算報告について
第11号	健全化判断比率について
第12号	公営企業の資金不足比率について
第13号	専決処分の報告について

## 決算特別委員会を設置

9月定例会に平成30年度決算に関する議案が提出されたため、議会では決算特別委員会を設置し、10月1日から3日にかけて審査を行いました。  
※審査概要は、次号でお伝えします。

- 【委員長】坂間 正昭 (写真)
- 【副委員長】江口 友子
- 【委員】諸伏 清児  
永田 美典  
府川 勝  
出村 光



## 議員提出議案 (賛否が分かれた議案)

会議案番号	件名	結果	清	公	湘	共	A	B	C	D	E	F	G	H
第4号	渡部亮議員に対する辞職勧告決議	可決	○	○	○	○	-	×	×	×	×	×	×	×

※会議案第4号の表決の際、A～Fの議員は無所属の議員であったため、それぞれの賛否を掲載していません。また、渡部亮議員は、一身上の事件のため除斥となっています。

## 会派と所属議員

- 清風クラブ (清)
  - 佐藤貴子 数田俊樹 野崎審也 諸伏清児
  - 坂間正昭 須藤量久 黒部栄三 片倉章博
  - ※片倉議長は採決に加わりません
- 公明ひらつか (公)
  - 秋澤雅久 石田美雪 上野仁志 鈴木晴男
  - 永田美典
- 湘南フォーラム (湘)
  - 府川正明 山原栄一 出村 光
- 日本共産党平塚市議会議員団 (共)
  - 石田雄二 松本敏子
- しらさぎ・無所属クラブ (し)
  - A 渡部 亮 B 江口友子 C 端 文昭 D 金子修一
  - E 府川 勝 F 白井照人
- 無所属
  - G 久保田聡 H 小泉春雄

## 市議会を傍聴しませんか

市議会の本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。会議の開催日に市役所本館8階にお越しください。本会議では、車いす席やお子様連れの方のための特別傍聴席も設けています。会議は午前10時に開会の予定です。  
また、定例会本会議はケーブルテレビ (SCN) での生中継と当日夜の録画放送、インターネットでの生中継と録画中継の配信を行っています。  
●本会議の傍聴に手話通訳者の派遣ができます  
聴覚に障がいのある方を対象に、市議会の本会議の傍聴に手話通訳者の派遣ができます。傍聴希望日の3週間前までに、議会局へお申し込みください。

## 12月定例会の予定

- 11月26日(水) 本会議 (決算認定議案などの表決 提案説明など)
- 12月5日(水) 本会議 (総括質問)
- 6日(木) 本会議 (総括質問)
- 9日(日) 本会議 (総括質問)
- 10日(月) 本会議 (総括質問)
- 12日(水) 常任委員会 (総務経済・都市建設)
- 13日(木) 常任委員会 (環境厚生・教育民生)
- 19日(水) 本会議 (表決など)

問い合わせ  
平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791